

男の育児休業

・・・ふたごパパの育児体験記・・・

龍ヶ崎市役所の男性職員で、初めて育児休業を取得した職員の育児休業体験記を紹介します。彼は、2010年11月に1歳を迎えた双子のお子さんのパパです。ママも仕事を持っており、2011年の4月からは職場復帰をする予定です。そこで、残り少なくなったママの育児休業にあわせ、一緒に育児を楽しもうと、一念発起、自身も育児休業を取得しました。

丁度、男性職員の子どもたちが1歳になったころ、中山市長が第2子出生にあわせて“育児のための期間（いわゆる育児休業）”を取得しました。また、自らを『イクメン※』と称して様々なイベントや講演会に参加、また自身のブログでも育児体験を紹介し『イクメン』の啓発やPR効果を狙っています。

今回の「龍ヶ崎市役所男性職員初の育児休業取得」となったのは、男性職員自身が育児休業を取得したいと考えていた矢先の中山市長の育児休業取得や、市長からの応援などが後押しとなり実現しました。

そして、自身の仕事を調整し、2011年2月21日から2月25日の5日間の育児休業を、取得することになりました。

今回は、彼の育児休業中の体験話を聞き取り、人事課でまとめてみました。

参 考

☆イクメンとは. . .

「育児をする Men's」の略で、子育てを楽しみ、自分自身を成長させること、又は将来そのような人生を過ごすことを考えている男性を指します。

☆育児世代が求める「イクメン」像とは？

- 毎日とは言わなくても、世話・育児を分担する。
- しつけや遊びだけでなく、様々な育児に携わる。
- 育児の相談にのる。

職員の声

※育児休業を取ろうとしたきっかけは？

●普段は平日の帰宅してからや土日は育児をしているが、普段、母親がどのように育児をしているのか体験してみようと思ったのがきっかけです。

※育児休業を取得することを伝えたとき、まわりの反応は？（家族、職場、友人）

●家族は少しでも人手ができることに大賛成でした。また、職場でも快く承諾してもらいました。

※育児休業中の仕事はどうなっているんですか？

●極力、忙しくない時期を選び、業務を前倒しで処理しました。

＊育児休業中の過ごし方は？

●偕楽園や大洗水族館に行きました。後は、家の前の土手で遊ばせたり、龍ヶ崎市や取手市の支援センターに行ったりしました。

●もともと私が家事全般と子供の風呂入れをしていたのですが、育児休業中は妻が家事を私が育児全般を（子供のご飯、オムツ替え、昼間の遊びや子育て支援センター通い）という役割分担で過ごしました。

＊お子さんと一緒に過ごした中で、良かった事、苦労したことは？

●良かったことは、子供達が私に一番なついてくれたことや日々の成長を見れたこと。
苦労したことは、二人同時に泣かれた時にどうしようもなく精神的に疲れたこと。

＊育児休業を取ってみてどうでしたか？

●子育て支援センター等を利用してたくさんの人々の話をきけたので、子育てに対して視野が広がりました。

＊パパの育児休業期間中のママの反応は？

●美容院に行ったり、買い物に行ったり普段できないことができた喜んでました。

＊他に同じ境遇の男性職員がいたら育児休業を勧めますか？

●良い経験になるとは思いますので勧めたいと思います。

